

Title	著訳者紹介
Author(s)	聖学院キリスト教センター
Citation	キリスト教と諸学 : 論集, Volume28, 2013.3 : 1-5
URL	http://serve.seigakuin-univ.ac.jp/reps/modules/xoonips/detail.php?item_id=4463
Rights	



聖学院学術情報発信システム : SERVE

SEigakuin Repository for academic archiVE

著 訳 者 紹 介

(掲載順)

山口 博 やまぐち・ひろし

1951年生まれ。1980年東京神学大学大学院神学研究科組織神学専攻博士前期課程修了。日本基督教団大宮教会伝道師（担任教師）、日本基督教団金沢教会伝道師（内灘伝道所専任担任教師）、日本基督教団内灘教会伝道師就任（主任・担任教師）。この間、英国グラスゴー大学大学院に学ぶ。酪農学園大学宗教主任、北海道文理科短期大学宗教主任（兼務）、酪農学園大学環境システム学部教授・酪農学園副学園長を経て、2007年より聖学院中学校高等学校校長、2012年より聖学院副院長・キリスト教センター所長・聖学院大学附属みどり幼稚園園長代行（兼務）。

【著書】『イエス伝——マルコ福音書によって』、“The ministry of the ministry,” *The Church and the Ordained Ministry*, April 1989, “Church of Scotland from the late 18th century until 1929, and its overseas missions,” *Scottish Church History*. ほか。

標 宣男 しめぎ・のぶお

1943年生まれ。東京工業大学理工学研究科修士課程修了。工学博士。日立製作所中央研究所研究員、動力炉核燃料事業団および原子力工学試験センター主任研究員を経て、現在、聖学院大学副学長、政治経済学部長、同教授。

【著書】『科学史の中のキリスト教』（教文館）、『数値流体力学』、『 α -FLOW による熱と流れのシミュレーション』（共著、朝倉書店）ほか。

【訳書】W. パネンベルク『自然と神』（共訳、教文館）など。

相川 章子 あいかわ・あやこ

1969年生まれ。大正大学大学院人間学研究科福祉・臨床心理学専攻博士課程修了（博士（人間学））。国立精神・神経センター精神保健研究所、精神障害者通所授産施設またたびの家、地域生活支援センター MOTA 所長、埼玉県内看護専門学校学生相談などで精神保健福祉士として勤務。現在、聖学院大学人間福祉学部准教授および同大学院人間福祉学研究科准教授併任。精神保健福祉士。

【著書】『かかわりの途上で』（共著、へるす出版）、『福祉の現場で役立つスーパービジョンの本』（共著、河出書房新社）、『人間福祉スーパービジョン』（共著、聖学院大学出版会）ほか。

【論文】「精神保健福祉領域におけるプロシューマーに関する研究」『大正大学大学院研究論集』第36号など。

河島 茂生 かわしま・しげお

2002年慶應義塾大学総合政策学部卒業。2004年東京大学大学院学際情報学府修士課程修了。2010年東京大学大学院学際情報学府博士課程修了。博士（学際情報学）。現在、聖学院大学政治経済学部専任教員、明治大学情報コミュニケーション学部兼任講師。情報メディア学会理事。専門社会調査士、司書。

【著書】『図書館情報技術論』（共著、ミネルヴァ書房、2013）、『考える情報学』（共著、樹村房、2012）、『生命と機械をつなぐ授業』（共著、高陵社書店、2012）など。

【論文】「ネットゲーム依存に関するオートポイエシス論的考察」（『聖学院大学論叢』25(2)、2013）、「コミュニケーションサイトにおける利用者の「内的規範意識」とその書きこみとの関連」（共著、『社会情報学研究』15(2)、2011）、「インターネット上のコミュニケーション集団の凝集性に関するシステム論的分析」（東京大学大学院学際情報学府博士論文、2010）など。

小林 良彰 こばやし・よしあき

1954年生まれ。慶應義塾大学大学院法学研究科博士課程修了。法学博士。現在、内閣府日本学術会議副会長、慶應義塾大学法学部教授、聖学院大学総合研究所客員教授。

【著書】『選挙・投票行動』（東京大学出版会）、『現代日本の政治過程』（東京大学出版会）、『現代日本の選挙』（東京大学出版会）、『公共選択』（東京大学出版会）（中国語訳・韓国語訳も出版）、『制度改革以降の日本型民主主義』（木鐸社）、*Malfunctioning Democracy in Japan*, (Lexington) など。

阿久戸 光晴 あくど・みつはる

1951年生まれ。一橋大学社会学部・法学部卒。住友化学工業株式会社勤務を経て、東京神学大学博士課程前期修了後、米国エモリー大学神学部大学院ほか。その傍ら聖学院大学及び聖学院アトランタ国際学校開設業務を担当。その後聖学院大学宗教主任兼助教授を経て、現在、学校法人聖学院理事長兼院長・聖学院大学学長兼教授。その他日本聖書協会新翻訳事業検討委員、荒川区不正防止委員会委員長など。

【著書】『近代デモクラシー思想の根源』、『説教集 新しき生』、『ヴェーバー・トレルチ・イエリネック』（共著）、『神を仰ぎ人に仕う』（共著）、『キリスト教学校の形成とチャレンジ』（共著）ほか、著書・論文多数。

ナイティンゲール 亜衣 ないていんげーる・あい

聖学院大学人文学部欧米文化学科卒業。2001年より聖学院大学総合研究所職員、2004年より国際交流課職員。

小松澤 恵 こまつざわ・めぐみ

桐朋学園大学音楽学部演奏学科声楽専攻卒業。東京バプテスト神学校教会音楽科マスターコース卒業。卒業後3ヶ月間アメリカで教会音楽の研修を積む。東京バプテスト神学校教会音楽科教師、ユーオーディアアカデミー講師、グレイス音楽教室主宰、女子聖学院中高コーラス部コーチ。2012年度まで聖学院小学校音楽科非常勤講師・聖歌隊指導を務める。また、チャペルコンサートのソリストとして、また賛美歌指導特別講師として活動。大久保バプテスト教会音楽主事。ユーオーディア会員。

日本バプテスト連盟新生讃美歌出版に関わる。また、オリジナル賛美曲の作曲も手がけ、CD製作にも参加。2008年9月にソロ賛美CD「GRACE」をリリース。

木戸 健一 きど・けんいち

1956年生まれ。1982年青山学院大学大学院修士課程修了。明治学院高等学校、横浜共立学園中学校高等学校社会科教諭を経て、2008年東京神学大学大学院博士前期課程修了。現在、女子聖学院中学校高等学校副チャプレン・聖書科教諭。日本基督教団滝野川教会協力牧師。

【論文】「キリスト教学校の類型的理解への一試論」『キャンパス・ミニストリー』第9号（学校伝道研究会紀要、1995年）、「大塚久雄における「苦難の神義論」の意味——社会科学と信仰のあいだをめぐる——」『キャンパス・ミニストリー』第12号（学校伝道研究会紀要、1999年）、「中等教育（中学・高校）におけるキャンパス・ミニストリーの実践と課題」『キリスト教学校の形成とチャレンジ 教育の神学 第3集』（聖学院大学出版会、2006年）。

平石 雄一郎 ひらいし・ゆういちろう

1928年生まれ。九州大学（旧制）経済学部卒業。国税庁勤務（鹿屋税務署長、大蔵省、国税庁課長補佐、金沢国税局調査査察部長、福岡国税不服審判所長等）を経て、1974年国土館大学政経学部教授、拓殖大学商学部、金沢学院大学経営情報学部等教授を経て、2000年より聖学院大学大学院政治政策研究科客員教授。

【著書】『法人税精説』（酒井書店、1966年）、『体系 会計学辞典』（分担執筆、ダイヤモンド社、1969年、木村重義ほか編）、『移転価格問題に対する税制上の

規制』（日本租税研究協会、1982年）ほか。

- 【論文】「移転価格問題に対する税制上の規制」（『租税法研究』第10号、1982年）、
「法人税負担の国際比較について」（『総合経済研究所紀要』2号、国土館大
学）、「交際費課税の基本問題」（『税経通信』、税務経理協会、1981年）、
「エンジェル税制について」（『税理』ぎょうせい、1996年）ほか。

松本 周 まつもと・しゅう

聖学院大学卒業。東京神学大学大学院博士前期課程修了。聖学院大学大学院博士
後期課程修了、博士（学術）。現在、聖学院大学総合研究所助教、日本基督教
団教務教師。ほかに全国教会青年同盟理事、アジアキリスト教教育基金評議員。

- 【論文】「ラインホルド・ニーバーにおける power 概念について」（東京神学大
学総合研究所『紀要』8、2005年）、「神学と社会福祉——ラインホルド・
ニーバーの視点から」（『キリスト教社会福祉学研究』37、2005年）、「日本に
おけるピューリタニズム倫理の受容」（『ピューリタニズム研究』2、2008年）、
「戦後日本とキリスト教——ピューリタニズム社会倫理の視点から」（聖学院
キリスト教センター『キリスト教と諸学』25、2010年）「植村正久とP.T.フォー
サイスの祈祷論」（『ピューリタニズム研究』6、2012年）、「〈ニーバーの
祈り〉とスピリチュアリティ——その日本における受容形態の考察」（『聖学
院大学総合研究所紀要』53、2012年）ほか。

森田 美千代 もりた・みちよ

国際基督教大学大学院修士課程教育研究科修了（教育学修士）。ドルー大学神
学部 Master of Theological Studies 修了（神学修士）。ドルー大学大学院博士課
程アメリカの宗教と文化専攻修了（Ph. D.）。現在、聖学院大学総合研究所教授。

- 【著書】 *Horace Bushnell on Women in Nineteenth-Century America* (Univer-
sity Press of America). 『「キリスト教養育」と日本のキリスト教』（教文館）、
『ブッシュネル「キリスト教養育」の成立過程研究』（日本キリスト教団出版
局）、『人間の生と教育』（創言社）ほか。

- 【訳書】 ホーレス・ブッシュネル『キリスト教養育』（教文館）、『理想の大学』（創
言社）ほか。

- 【論文】 “Horace Bushnell on Women in Family, Church, and Nation in
Nineteenth Century Christian America.” Ann Arbor: University Micro-
films International, 1999. 「ホーレス・ブッシュネル研究——『キリスト教
養育』をめぐる——」（教授資格論文）ほか。

高 萬松 こう・まんそん

1953年生まれ。東京神学大学大学院博士前期課程修了。聖学院大学大学院博士後期課程修了、博士（学術）。現在、聖学院大学総合研究所助教。

【著書】『포사이스의 신정론(フォーサイスの神義論)』（基督教連合新聞社、ソウル、2007年）、「P.T.フォーサイスにおける戦争倫理」（共著、古屋安雄編『歴史と神学』聖学院大学出版会、2006年）。

【訳書】『마른기도와 그 열매(正しい祈りとその実り)』（大韓基督教出版社、ソウル、1999年、P.T. Forsyth, *The Soul of Prayer* の韓国語翻訳）、『청교도』（基督教連合新聞社、ソウル、2010年、大木英夫『ピューリタン』の韓国語翻訳）。

【論文】「P.T.フォーサイスとピューリタニズム」（日本ピューリタニズム学会『ピューリタニズム研究』2、2008年）、「初期韓国教会とピューリタニズム」（日本ピューリタニズム学会『ピューリタニズム研究』4、2010年）、「1970年代韓国教会の社会参与に関する神学の考察」（『聖学院大学総合研究所紀要』52、2012年）、「日韓会談反対運動と日韓教会交流」（『聖学院大学総合研究所紀要』53、2012年）ほか。

エバート・D・オズバーン Evert D. Osburn

1956年生まれ。Multnomah Bible Collegeなどで学び、1988年、Portland, Oregon の Western Seminary で Exegetical Theology（キリスト教系統的神学）の M.A. を取得。同年、The Independent Fundamental Churches of America で 按手を受け、日本キリスト教団西荒川教会に宣教師として赴任。Virginia の Regent University で School of Leadership Studies の Advanced Graduate Studies を修了。現在、同教会牧師。1992年、聖学院大学総合研究所所員になり、現在、聖学院大学人文学部教授、人文学部チャプレン。